FFC 農業資材　活用効果事例レポート vol.5

黒の土作り®と土壌還元消毒で健全な栽培をサポート



黒の土作り
(1袋40L入)

■ トマト（東北地方）　作型：定植（3～4月）、収穫（6月～10月）

長年、大玉トマトの栽培において、青枯病に悩まされてきたA様。
「黒の土作り」の散布と土壌還元消毒を実施することで、青枯病の克服を目指されました。



青枯病が7月に発生し、
栽培を中断。



反当り100袋の「黒の土作り」を散布し、8月中旬から約1ヶ月間、
土壌還元消毒を実施。







翌年には青枯れ病を克服！

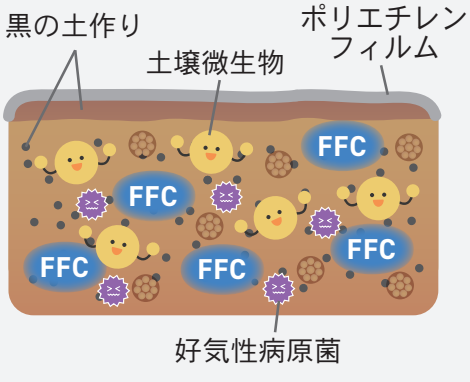
「黒の土作り」の散布と土壌還元消毒を行った翌年のハウスには青枯れ病が出ることなく、順調に収穫量を伸ばし、例年以上の収量を実現！
市場出荷のトマトを見せていただくと「お尻が放射状」になっており、糖度が高いことが見てとれます！

FFCを活用した土壌還元消毒について

①「黒の土作り」により土壌微生物を活性化させます。
②土壌にポリエチレンシートを張り、土壌を水漬けにします。

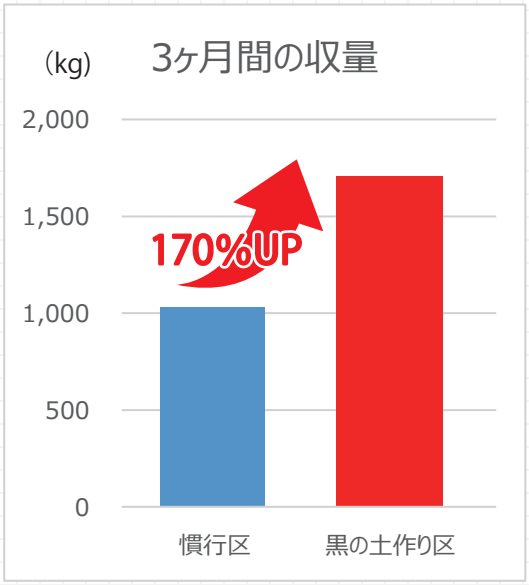
水漬けにすることで、FFCの機能を土壌中に行き渡らせます

③水漬けにより空気を遮断し、土壌を酸欠状態（還元状態）にすることで、好気性病原菌を死滅させます。
④さらに太陽熱により地温が上昇し、センチュウなどの害虫を死滅させ、クリーンな土壌環境を作り出します。



■ ミニトマト（熊本県）

熊本県でミニトマトを栽培されているS様。土づくりに反当70袋の「黒の土作り」の散布と土壌還元消毒を行われました。「黒の土作り」を活用することで慣行区対比170％アップの収量増となりました。





根の張りを確かめたところ、慣行区はぐらぐらしてましたが、黒の土作り区の根張りはびくともしませんでした！

ミニトマトの収量増を実現！

■ トウモロコシ（宮城県）

宮城県でトウモロコシ栽培をされているY様。土作りに「黒の土作り」を活用したことで、例年にも増してトウモロコシの糖度が高かったそうです。お客様からも「美味しい！」と大好評です。



マニアスプレッダーを使って
黒の土作りを散布



トウモロコシの背丈も大きく
太陽の光を良く浴びた立派な実ができました！



トウモロコシの糖度の向上！

作物の糖度を上げるには、光合成（糖の生成）が重要な要素です。「黒の土作り」を活用した土づくりによってトウモロコシが健全に生長した結果、葉の展開が良くなり、光合成が促進されたと考えられます。

お問合せ先 株式会社 エフエフシー・ジャパン 〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3
TEL:059-230-3595　mail:info@ffc-japan.co.jp